



内閣府所管
公益社団法人
知財経営協会(SIR)

21世紀を生き抜く最高の術
知財インテリジェンス



Vision & Mission

世界無形資産銀行(SIR&WIB)創設による知財革命
新しい知財の歴史・制度を創り 公正・共栄社会の実現

(令和8年4月24日 春季知財経営研究会資料)

世界観（経営理念）

世界の調和ある繁栄

共存共栄

（私益と公益のバランス）

独占排他から不正防止（公正）へのシフト

Intelligence & Integrity

（知性と徳性）

日本の最大課題

憂患に生き安楽に死すとは

最大の構造課題:
人口減小(少子高齢化)

最大のビジネス課題:

知識経済社会(Knowledge Economy)に移行したのに
マネジメント(・人 ・組織 ・情報(無形資産) ・スピード)が
昭和のまま止まっている=ビジネスインテリジェンス不足

経営の要諦：顧客価値の創造と生産性の向上

Intelligence for Intangible & Integrity (3アイ)

◎ ナレッジマネジメント(知財・無形資産)の革新

価値創造：人による創造＋AI活用

保護(コスト)  活用・使用(収益)

* 権利法(特許)と行為法(商標、不正競争防止法、著作権法)

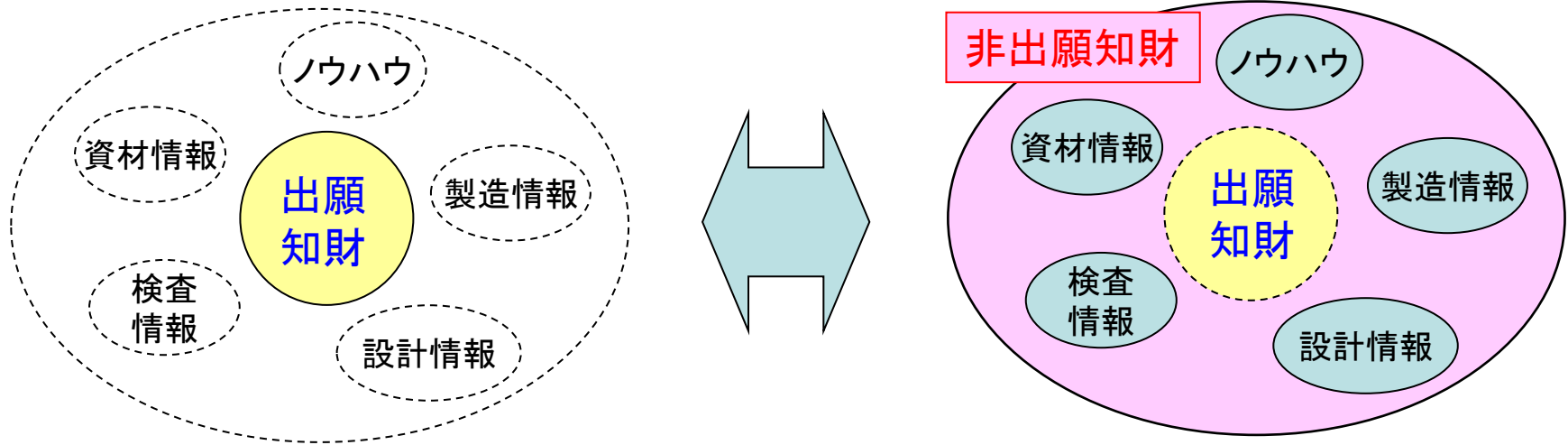
◎ 生産性(労働生産性)の向上

労働生産性＝付加価値(売価－外部支払等費用)÷労働時間

日本の労働生産性(2023年の時間当たり56.8ドル)は
OECD加盟国38ヶ国中30位、G7中最下位(米国の半分)。

* これらを向上させる抜本的方途！

非出願知財(守秘知財)は、商品力(品質・性能・コスト)を決定
 ～今日まで、特許等の出願知財のみが偏重されてきた～



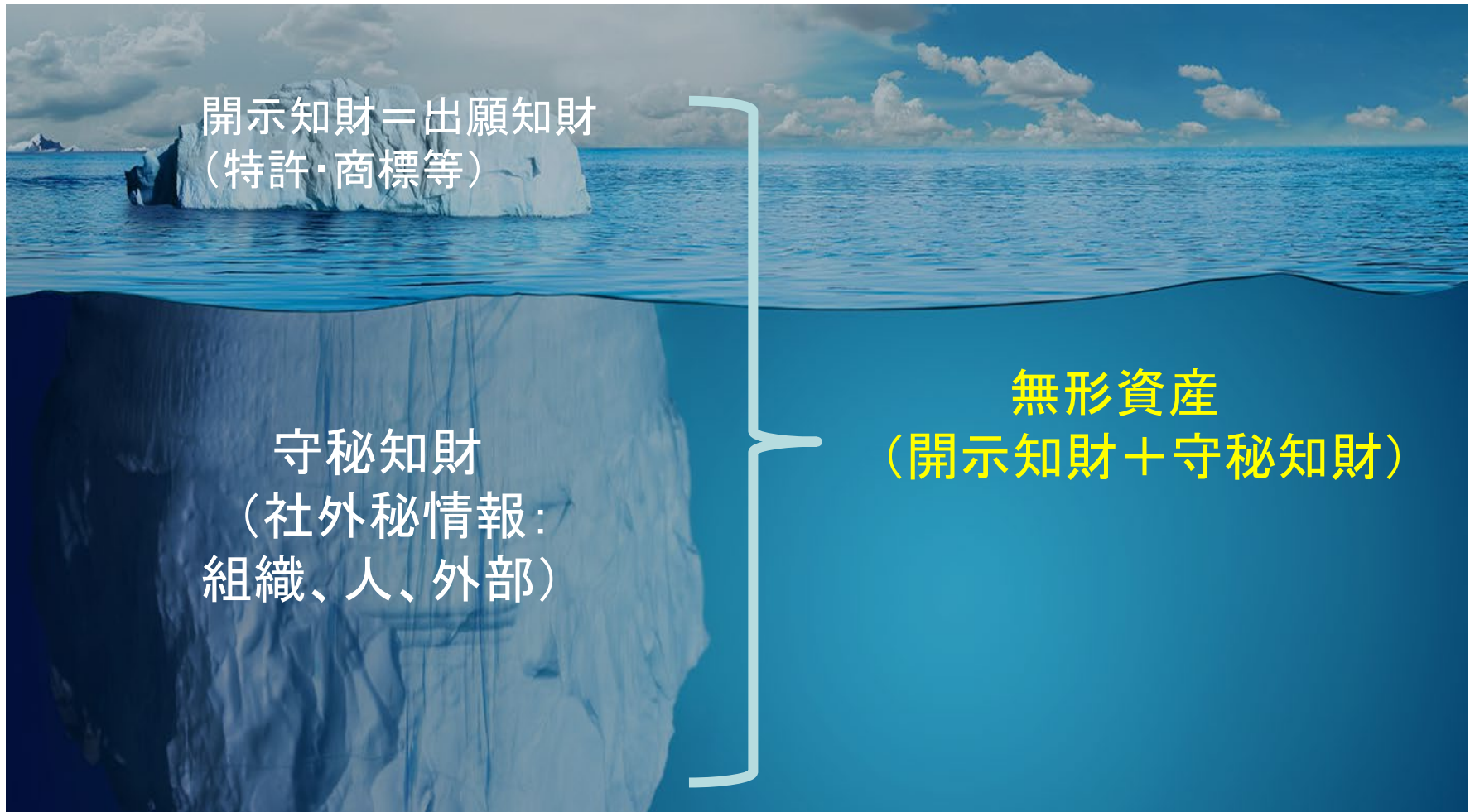
特許などの出願知財情報だけでは
 試作品レベルのものしか作れない

設計製造情報やノウハウなどの
 非出願知財によって、品質・性能・
 コストを満たす競争力商品になる

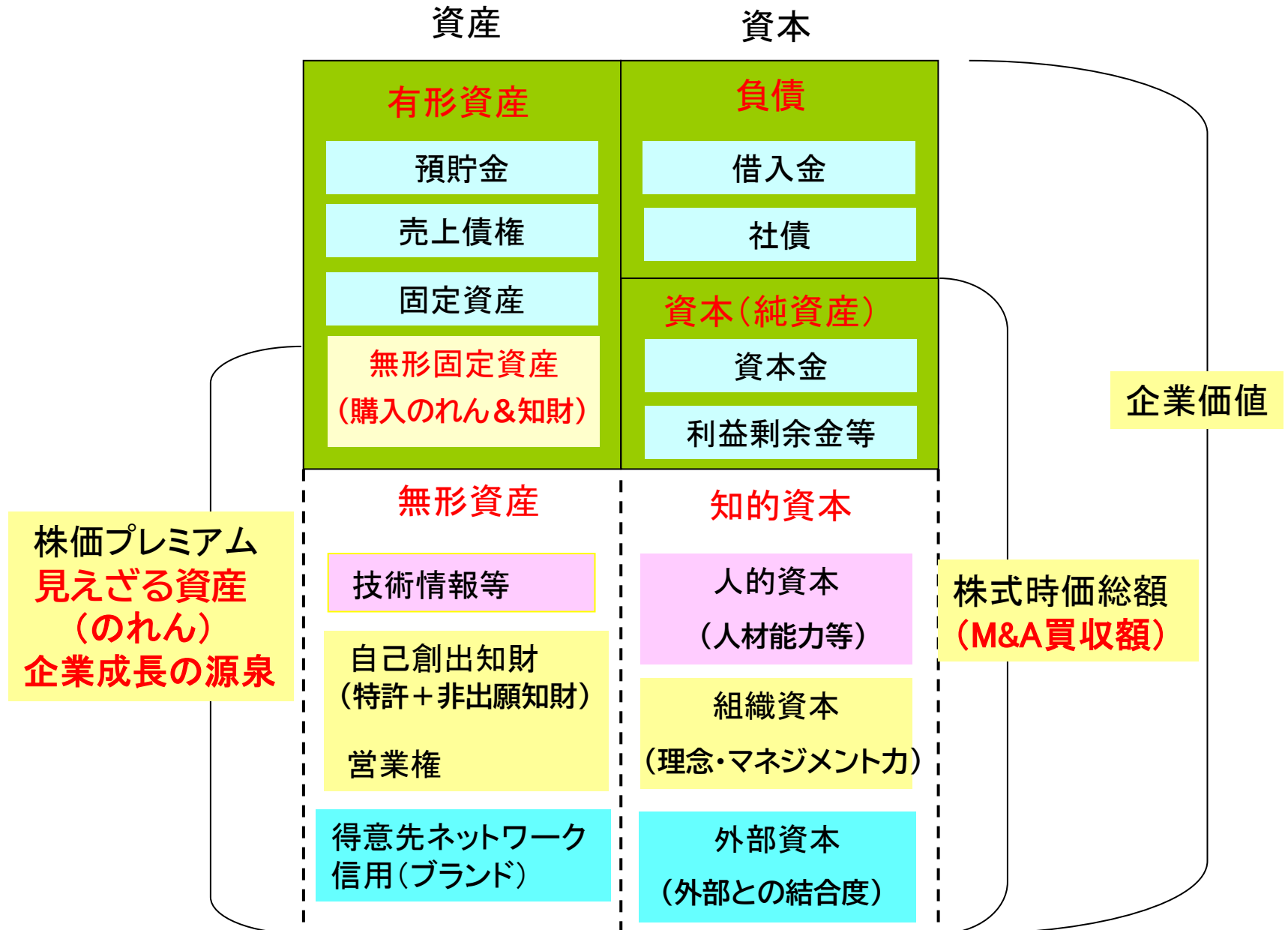
IBMの知財戦略

基本特許はデファクトにして普及させるため無償や低料率で公開し、
 商品化に必要な周辺の出願知財をライセンスすることで儲ける戦略

協会登録知財は無形資産全体をカバー
～無形資産(見えざる資産: Intangible Asset)が本丸～



貸借対照表(BS)には表記されない無形資産



世界初の知財(IP)コードの意義役割

～第三者機関(公益法人)による知財識別認証番号～

知財(IP)コードは事業商品の知財使用を明示する



SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
G3920000101000095

SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
知財の種類→ G3920000101000095
日本国コード メーカーコード 情報番号

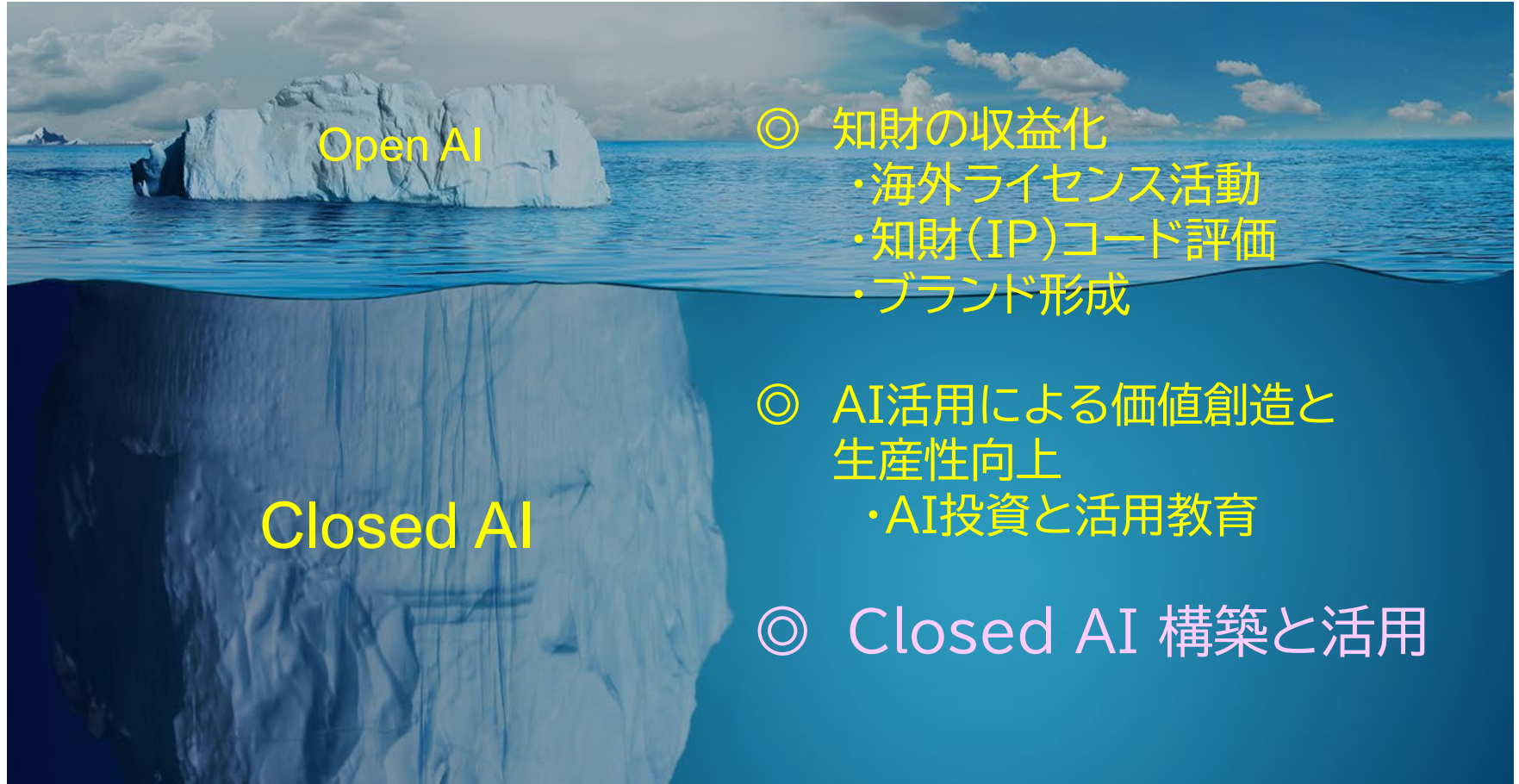
QRコード: 知財情報及び商品概要のURL情報(スマホ等で簡便に確認可能)

知財(IP)コードの役割

- | | | |
|----|---|--|
| 保護 | { | <ul style="list-style-type: none"> ・先使用権制度 & 不正競争防止法等の担保明示(係争時の証拠) ・社員等による知財流失や盗用防止(社外秘情報の知財保護) ・ニセモノ対策(知財コードによる知財使用商品追跡) ・優位な立場を利用した知財搾取や横取り防止(米国A社の事例) ・知財情報等の預かり(知財バンク:IPB、公証役場等の代替え) ・低コスト高信頼(1件年間千円相当、ISO準拠タイムスタンプ) |
| 活用 | { | <ul style="list-style-type: none"> ・知財使用商品等に表記しブランド価値形成(知財ブランドモデル) ・知財ライセンス活用(ライセンス知財の担保等) ・国民の知財意識向上(知財表記とQRコードによる情報取得) |

AI時代の知財・無形資産マネジメント

投資なくして成長なし（価値創造と生産性向上）



各部署におけるAI活用準備(ビジネス・インテリジェンス)

WIB(世界無形資産銀行: World Intangible Bank)

～SIR理念発展に向けての先導的構想～

WIB Charter(世界無形資産銀行 憲章)

— SIR&WIB:SIRによる認証 / IPコード発行を含む統合 —

前文(Preamble)

世界の文化、技術、知識、創造性、伝統、技能、ブランド、データ、ノウハウ、社外秘情報などの無形資産情報は、国際社会の基盤である。しかし、これら無形資産には国際的な登録・証明・保護・継承・活用の仕組みが欠如しており、盗用・断絶・価値毀損が世界規模で発生している。

世界無形資産銀行(World Intangible Bank, 以下「WIB」)は、無形資産の登録・証明・保護・継承・活用を国際的に保証する唯一のグローバルインフラとして設立され、無形資産を出願によらずに保護し、活用(マネタイズ)し、未来へ継承し、国際社会の公正共栄と持続的発展に寄与することを目的とする。

WIBは、SIRを補完発展させる任意団体として発足する。

WIBの名称

WIB(World Intangible Bank)

VS WIR(World Intangible Registration)

1. 国際ブランド力の比較観点

- WIBは世界銀行(World Bank)に並ぶ格を想起、WIRは単なる登録機関の印象
- 国際機関として「銀行」は制度的権威を持ち、「Registration」は事務局的印象
国際交渉での説得力が圧倒的に高い
- WIBは、UNESCO・WIPO・各国政府との交渉においても「国際インフラ」としての格を自然に伝えられる。

2. 機能範囲の広さ

WIBは「登録」だけでなく、以下のような広範な機能を自然に包含できる。

- 登録(Registration)
- 認証(Certification)
- 保護(Protection)
- 評価(Valuation)
- 取引(Licensing / Exchange)
- アーカイブ(Archiving)
- 国際標準化(Standardization)等

3. 「銀行(Bank)」という言葉の強み ⇒ 『価値の銀行』

「Bank」は単なる金融機関ではなく、国際的には以下の意味を持つ。

- 価値の保管庫(Repository of Value)
- 信頼の源泉(Trusted Authority)
- 国際的な基盤(Global Infrastructure)

無形資産は「価値」であり、WIBはその価値を保管・証明・流通させる「価値の銀行」として極めて自然。

4. 将来の国際標準化を見据えたときの優位性

WIBは将来的に以下の国際標準化を主導できます。

- 無形資産コード(IAC: Intangible Asset Code、拡張知財(IP)コード)
- デジタル証明書(WIB&SIR Certificate)
- 国際アーカイブ規格
- 文化資産のデジタル保護基準

「銀行」という名称は、こうした制度的枠組みを構築する際に非常に相性が良い。

5. SIRとの二層構造にも完全に適合

- WIB:国際インフラ(プラットフォーム)
- SIR:国際認証機関(ICA=拡張知財IPコード)

発明には工業発明と文化発明がある

: 産業財産権(出願知財)
 : 登録知財(非出願知財)

発明

工業発明 → 産業発明(産業財産権で保護)

特許発明

実用新案発明

ノウハウ・方法発明

意匠発明(デザイン)

商標発明(シンボルマーク)

文化発明 → 著作発明(著作権や不競法等で保護)

文芸発明(小説、和歌、漫画、**キャラクター**、演劇、ビデオ、映画等)

音楽発明(歌謡、歌い方、指揮法等)

美術発明(写真、彫刻等)

学術発明(論文等)

技芸発明(ゲーム、武芸、花踊りの流儀等)

協会はこれら文化発明の登録保護活用も推進しています

非出願による知財保護比較

TST:タイムスタンプトークン
TSA:タイムスタンプ認証局

	WIB & SIR	WIPO (世界知的所有権機関)	INPIT (工業所有権情報研修館)	公証役場
サービス内容	(無料) ・会員情報をUPすることなくTSTを生成し管理 (有料) ・SIR電子署名 ・SIR会員の全サービス享受	(有料) ・会員情報をUPすることなくTSTを生成し保管 ・1件20スイスフラン(約4千円)	(無料) ・企業TSAによって押印されたTSTの預かりサービス	(有料) ・紙の文書又は電子文書に確定日付け押印 ・これは世界標準RFC3161タイムスタンプではなく法務省システム ・700円～
国際対応	◎	◎	△	×
サービス期間	2026～27/開始予定	2020/5/27 ～ 2022/1/31	2017/3/27 ～ 2021/3/31	2020/5/27 ～ 2022/1/31
評価	◎	— (廃止)	— (廃止)	×

WIBの役割(ミッション)

WIB は、世界の無形資産(文化・技術・知識)を 登録・認証・証明・保護・活用するための 国際的インフラストラクチャー

国際的課題

- ・ 文化・伝統技能の消失
- ・ 技術・知識の散逸
- ・ 国際的な無形資産の識別基準の欠如
- ・ 改ざん・不正利用の増加
- ・ 長期保存の不統一

WIB の国際的役割

- ・ IAC(無形資産コード=IPコード包含)による国際識別
- ・ 国際証明書(SIR&WIB Certificate)による真正性保証
- ・ 100年保存アーカイブ の構築
- ・ SIR(ICA)による事業商品の認証とニセモノ等不正撲滅
- ・ WIPO (国際知財制度との整合、利者認証・証明の標準化)
- ・ 国際標準化ISO推進 (IAC・証明書・アーカイブの国際標準化)

各国政府

- ・ 国家文化及び技術政策の基盤、国際的な文化・技術保全の枠組み

WIBが解決するビジネス課題例

課題

企業の課題

- ・ 技術・ノウハウ等社外秘情報の流出
- ・ 国際的な知財証明の不足
- ・ 無形資産の評価が困難

大学・研究機関の課題

- ・ 研究成果の散逸、
- ・ 旧態依然のラボノート
- ・ 著作・発明の証明が不十分
- ・ 技術移転の非効率

銀行・金融機関の課題

- ・ 無形資産の担保評価が困難
- ・ 信頼できる証明データの不足

文化機関/自治体

- ・ 文化資産の保護・継承
- ・ 国際的認知の向上

WIB が提供する価値

企業向け

- ・ 社外秘情報等の国際証明
- ・ ライセンス・マネタイズ支援
- ・ 国際的な知財戦略の強化

大学向け

- ・ 研究成果の登録・証明
- ・ 電子ラボノート
- ・ 学術アーカイブの長期保存
- ・ 産学連携の強化

銀行向け

- ・ 無形資産の評価基盤
- ・ 新しい融資モデルの創出

文化機関/自治体

- ・ 地域文化遺産の保全強化
- ・ 認知度強化と活用(マネタイズ)

SIR&WIBによる無形資産登録スキーム

1. Web対応システム (Windows, Mac, Linux)
 - * 会員側環境での無形資産情報処理(アップロードしない)
 - * ファイル名は国際言語対応(HPは日本語と英語の併記)
2. WIBが運営し、SIRが第三者として電子署名認証(証明)する仕組み
 - * 不正利用を防ぐための会員チェックや罰則規定
3. ギガレベルの大容量の無形資産情報に対応(文化情報等への対応)
(WIBは、ハッシュ値と時刻情報(=TST相当のPKCS #7=CMS)を保管し、これを会員に送付し、会員は後日これを検証できる)
4. 無料会員は、TST相当情報(タイムスタンプ押印情報)のみ送付
有料会員は、SIR電子署名(証明書)、サーバー保管(知財バンク)、自動認証期限延長、知財(IP)コード発行、追跡サービスを含むSIR会員としての全サービスを利用可
5. 大学は電子ラボノート普及のために当面の間、基本無料、文化施設も基本無料運営とする

無形資産情報の登録・検証の仕組み(1)

1. 入会 会員情報登録

2. 無形資産情報の登録

*途中で有料(Pro版)の可否表示あり

- ① 会員ログイン
- ② 登録する情報ファイルを所定場所にドロップ等(総容量は10G以内)
⇒登録情報ファイル名の海外言語対応
- ③ システムでハッシュ値を計算して、表紙PDF(台紙)に添付
- ④ 表紙PDFにタイムスタンプ押印(有料は、SIR電子署名&証明書)
- ⑤ メール先に送付(全てシステムに保管、有料は検索管理可能)

*有料(Pro版)を選択すると、SIR入会規則に誘導、会員情報入力
は自動的に1の情報が入力され、会員種別及び口数選択になる。
これ以降は、通常SIR入会と同じ仕組みでSIRホームページから
ログイン。⇒SIR知財バンクは上記2.のようにTST預かりに変更

無形資産情報の登録・検証の仕組み(2)

3. 認証及び検証

- ① ISO準拠のRFC3161規格タイムスタンプを押印することで、当該ファイル情報の押印時の存在証明と以降の非改ざん証明、
* 先着発明や先使用权等の証明にも適用が可能
- ② タイムスタンプ認証局(CA:Certificate Authority)は、AdobeのAATL(Adobe Approved Trust List)等の信頼性ある認定CAを用いてSIRによる電子署名やタイムスタンプ処理。
* 発行時に「長期署名形式(PAdES)」で配布
- ③ 電子署名及びタイムスタンプの検証チェックは無料Acrobat Readerで可能。
* 元情報の非改ざん検証(ハッシュ値照合)が可能
- ④ 有料会員(SIR会員)には、要求に応じて電子証明書を発行し更に、電子署名及びタイムスタンプの自動資格更新を実施。

WIB 規約案

第1条(名称)

本機関は **世界無形資産銀行(World Intangible Bank: WIB)** と称する。

第2条(目的)

WIBの目的は以下とする。

1. 無形資産の国際登録・証明・保護のための基盤を提供すること
2. 無形資産の価値評価・流通・活用を促進すること
3. 無形資産コード(IAC=IPコード)を国際標準として制定・管理すること
4. 無形資産のデジタル証明書(WIB Certificate)を発行すること
5. 文化・技術・知識の継承を支援し、国際社会の発展に寄与すること
6. 国際機関(UNESCO・WIPO等)および各国政府と協力し、無形資産保護の国際制度を構築すること

第3条(機能)

WIBは以下の機能を有する。

- ・ 登録(Registration)
- ・ 認証(Certification)
- ・ 証明(Verification)
- ・ 評価(Valuation)
- ・ 保護(Protection)
- ・ アーカイブ(Archiving)
- ・ 標準化(Standardization)
- ・ 流通・取引支援(Exchange Support)

第4条(組織構造)

WIBは以下の組織によって構成される。

1. 理事会(Board of Governors)
2. 事務局(Secretariat)
3. 賛助員(Advisory Board Member & Honorary Director)
4. 国際認証局(ICA: International Certification Authority) ※SIRが中核を担う
5. 技術委員会(Technical Committee)
6. 標準化委員会(Standardization Committee)
7. 文化・学術委員会(Cultural & Academic Committee)

第5条(加盟)

WIBには以下が加盟できる。

- ・ 各国政府
- ・ 国際機関
- ・ 大学・研究機関
- ・ 企業
- ・ 文化団体
- ・ 個人(一定条件下)

第6条(無形資産コード IAC)

WIBは、無形資産を国際的に識別するための Intangible Asset Code(IAC = 拡張知財(IP)コード) を制定・管理する。

以下省略

まとめ

- SIR & WIBは、全世界の全ての無形資産情報を、出願によらない知財として、登録(Registration)、認証(Certification)、証明(Verification)、評価(Valuation)、保護(Protection)、アーカイブ(Archiving)、流通・取引支援(Exchange Support)等ができる世界初の国際インフラ基盤で、SIRの理念を発展させる任意団体として発足し世界展開を図る計画。
- 対象情報は、大容量映像情報等も可能(10G以内を一応の制限とする)。
*映画、演劇、アニメ、演奏、ソフトウェア、データ、金型等の巨大ファイル対応可
- 対象情報のハッシュ値と時刻情報を会員情報及びIAC(知財コード拡張)と共に登録し送付。(無料会員)
- 有料会員(SIR会員)は、第三者機関としてのSIRの電子署名とその表記。
- 有料会員は、登録情報を協会サーバーに暗号化して保管・管理。
*その電子証明書の発行並びに閲覧管理可能。
- 有料会員は、電子署名やタイムスタンプの期限管理の自動化サービス。
- 有料正会員は、知財登録・保護・活用についての無料コンサルティング提供等全てのSIR会員特典を利用可能。

SIR & WIBの世界観：公正・共栄世界(調和ある発展)

華嚴經 入法界品



知財登録システムの改良

2026/04/15

改良内容;

- ①知財登録情報(知財表紙PDF)に知財本体情報を添付してこれにタイムスタンプを押印する**操作の煩雑性を解消し、クリック操作によって簡便可能に改良した。**
***従来の登録方法も補完用に併存させて使用可能とした。**
- ②従来のタイムスタンプは会員様によるものでしたが、**知財経営協会(SIR)が知財本体情報付き表紙PDFに電子署名してこれを表記することにより、SIRがこの書類を認証したことになり証拠品質向上が図れた。**
(但し、従来方式を使った場合は、電子署名はなし)
- ③知財及び商品登録画面で、**知財登録番号の自動付与と必須項目を少なくして簡便化した。**
知財登録番号は、従来通り手動設定も可能です。

***これ以外の機能は従来通りですのでヘルプはそれをご参照下さい。**

知財及び商品登録

メインメニュー ヘルプ ログアウト

知財情報を入力して、確定ボタンを押して下さい。

知財情報

■知財(IP)コード情報

知財種別 *必須	非出願知財：不正競争防止法や著作権法等の保護対象となる 設計・  (←ここを押して選択)
国コード	392 (日本のISO番号は392)
会員コード	0000001 (協会が付与した会員番号)
情報コード *必須 (5桁数字)	00001 (会員が知財情報に付与する番号、(例) 1桁目：事業区分、2,3桁目：商品区分、4,5桁目：情報識別番号)
チェックデジット	2 (C/D 自動計算付与)
IPコード(確認用)	S-392-0000001-00001-2 (知財種別 - 国コード - 会員コード - 情報コード - C/D)

知財・商品情報のURL(知財(IP)コード)

	SIR 知財登録認証番号 (知財(IP)コード) S3920000001000012
---	--

■知財内容

名称 *必須 (最大全角40文字)	商品XXに関する知財
知財概要 (最大全角128文字)	商品XXに関する知財

■知財書誌情報

創作者(発明者等) *必須 (最大全角40文字)	
創作者名の扱い	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開 (ホームページからの知財商品検索で創作者を非表示にします。)

① 基本的に自動付与だが
手動で付与もできる

② 必須を解除
(空欄でもOK)

知財本体情報の添付ー1

公財社団法人 知財経営協会 (SIF) 知財登録システム 2026年 4月 7日(火曜日) 玉井誠一郎

会員メインメニュー

ヘルプ ログアウト

メニューを選択して下さい。

① ここをクリック

知財及び商品登録
知財本体情報の添付
タイムスタンプ押印
知財 (IP) コード出力
知財預け入れ (IPB)
知財 (IP) コード読取り履歴
知財登録認証表示
知財照会
商品照会

確認

無料acrobat readerをインストールしてください (初回一度だけ)
<https://get.adobe.com/jp/reader/>

新方式 クリック操作による知財本体情報添付
従来式 従来システム

▶ タイムスタンプを押した知財登録情報を暗号化して保存管理します (知財バンク: IPB)。
▶ 商品追跡 (Track)やコゼモノ対策等に活用します (知財 (IP) コード追跡: IPT)。
▶ 知財登録情報を確認情報としてスマホ等に表示します。
▶ 登録済み知財情報の修正や削除を行います。修正の場合は再度タイムスタンプ処理が必要です。
▶ 登録済み商品の修正や削除を行います。修正の場合は再度タイムスタンプ処理が必要です。

② タイムスタンプ及び電子署名
検証のために、無料acrobat
readerを一回だけインストール

③ 新方式を選択(クリック)

* 添付総容量は最大は50Mまでです

知財本体情報の添付-2

知財一覧

メインメニュー ヘルプ ログアウト

知財を選択し、知財本体情報添付ボタンを押して下さい。

■知財一覧 (絞込条件表示) <---- 知財を絞り込みたい場合は絞込条件表示を押して下さい

選択	知財本体情報	IPコード	名称	知財内容概説	商品数
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input checked="" type="radio"/>		S-392-0000001-00000-5	WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)	WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)	0

知財本体情報添付 戻る

- ④ 知財登録情報(表紙PDF)に知財本体情報を添付します
当該知財登録情報の表紙一覧を選択して、知財本体情報添付ボタンを押す

知財本体情報の添付ー3

メインメニュー

ヘルプ

ログアウト

知財の本体情報添付を行ってください、作成したpdfファイルは1時間で削除されます。

■ 知財内容

名称 WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)

※添付ファイル名に日本語、スペース（空欄）は利用できません。ファイル名を半角英数記号（ローマ字、数字、記号）に変更して追加いただくをお願いします。

※合計50MBまで添付可能です。

選択	ファイル名	サイズ
<input type="radio"/>	<input type="text"/>	2MB
<input type="radio"/>		885KB

ファイル追加

ファイル削除

添付完了

戻る

- ⑤ ファイルの添付を押して当該知財本体情報を順次追加して添付完了を押す
添付したファイルを削除する場合は選択ボタンで当該ファイルを選びファイル削除を押す

（*従来式は、添付ソフトにCubePDFを用いています）

タイムスタンプ押印と検証ー1

公財社団法人 知財経営協会 (SIR) 知財登録システム 2026年 4月 7日(火曜日) 玉井誠一郎

会員メインメニュー

ヘルプ ログアウト

メニューを選択して下さい。

① タイムスタンプ押印、クリック操作式を選択



知財及び商品登録

知財本体情報の添付

タイムスタンプ押印

知財 (IP) コード出力

知財預け入れ (IPB)

知財 (IP) コード読取り履歴

知財登録認証表示

知財照会

商品照会

知財の登録並びに関連商品の登録を行います。

確認

クリック操作式 システムに登録した一時ファイルにタイムスタンプ押印を行います

従来式 PDFファイル編集ソフトを利用してタイムスタンプ押印を行います

タイムスタンプを押した知財登録情報を暗号化して保存管理します (知財バンク : IPB)。

商品追跡 (Track)や二セモノ対策等に活用します (知財 (IP) コード追跡 : IPT)。

知財登録情報を確認情報としてスマホ等に表示します。

登録済み知財情報の修正や削除を行います。修正の場合は再度タイムスタンプ処理が必要です。

登録済み商品の修正や削除を行います。修正の場合は再度タイムスタンプ処理が必要です。

タイムスタンプ押印と検証ー2

メインメニュー

ヘルプ

ログアウト

タイムスタンプを押印する知財本体情報に○のついた知財を選択してください

■知財一覧 () <---- 知財を絞り込みたい場合は絞込条件表示を押して下さい

選択	知財本体情報	IPコード	名称	知財内容概説	商品数
<input type="radio"/>		S-392			0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input type="radio"/>					0
<input checked="" type="radio"/>	○	S-392-0000001-00000-5	WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)	WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)	0

タイムスタンプ押印

戻る

- ② 知財本体情報が添付された(知財本体情報に○マーク)のある知財登録表紙PDFを選択し、タイムスタンプ押印を押す
(タイムスタンプ押印が完了すると知財本体情報の○マークは消えます)

*従来式は、Xolidsignを使用しています

タイムスタンプ押印と検証ー3

署名済みであり、すべての署名が有効です。 署名パネル


署名

すべてを検証

> バージョン 1 : SSL.com Timestamping Unit 2025 E1 により署名済み

SIR 知財登録認証情報 (表紙)

知財名称	WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)
所属情報	SIR
登録者氏名	玉井誠一郎
知財 (IP) コード	



SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
S3920000001000005

公益社団法人 知財経営協会 (SIR)
ホームページ: <https://www.ipbrand.org/> メール: staff@ipbrand.org

この知財登録認証情報は、知財関係法によって保護され、権利者に無断で使用すると処罰や損害賠償の対象になります。
この情報は、協会入会規則により、登録者がその登録内容に虚偽や盗用等の不正が無いことを誓約したものです。
この情報は、商品名やデザイン並びに著作権法で保護される公開情報を除き、機密情報として適正に管理されています。

電子署名者: 公益社団法人知財経営協会(SIR)
日付: 2026.04.07 09:06:45 +09:00

③ このように署名済みで署名が有効ですになり
この>をクリックすると次ページの表示になり
タイムスタンプ押印時刻を検証できます

④ このように協会が認証した
協会電子署名が表記されます

タイムスタンプ押印と検証ー4

ホーム ツール WIB(世界無形資産銀... ×

署名済みであり、すべての署名が有効です。 署名パネル

署名

すべてを検証

バージョン 1 : SSL.com Timestamping Unit 2025 E1 により署名済み

署名は有効です：
文書は、この署名が適用されてから変更されていません
署名者の ID は有効です
署名はドキュメントタイムスタンプ署名です。
署名は LTV 対応です

署名の詳細

[証明書の詳細...](#)

最終チェック日時 : 2026.04.07 09:08:56 +09'00'

フィールド : Timestamp-b9712c6f-0214-410e-89e0-79717983cc38 (不可視署名)

[このバージョンを表示](#)


SIR 知財登録認証情報 (表紙)

知財名称 : WIB(世界無形資産銀行 World Intangible Bank)

所属情報 : SIR

登録者氏名 : 玉井誠一郎

知財 (IP) コード



SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
S3920000001000005

公益社団法人 知財経営協会 (SIR)
ホームページ: <https://www.ipbrand.org/> メール: staff@ipbrand.org

この知財登録認証情報は、知財関係法によって保護され、権利者に無断で使用すると処罰や損害賠償の対象になります。
この情報は、協会入会規則により、登録者がその登録内容に虚偽や盗用等の不正が無いことを誓約したものです。
この情報は、商品名やデザイン並びに著作権法で保護される公開情報を除き、機密情報として適正に管理されています。

電子署名者 : 公益社団法人知財経営協会(SIR)
日付 : 2026.04.07 09:08:45 +09:00

⑤ この>押すと証明書の詳細が出るので
更にこの詳細を押すと次ページのように
タイムスタンプ押印時間等を確認できます

タイムスタンプ押印と検証ー5

署名済みであり、すべての署名が有効です。

署名

すべてを検証

バージョン 1 : SSL.com Timestamping Unit 2025 E1 による

署名は有効です:
文書は、この署名が適用されてから変更されていません。
署名者の ID は有効です
署名はドキュメントタイムスタンプ署名です。
署名は LTV 対応です

署名の詳細

証明書の詳細...

最終チェック日時: 2026.04.07 09:08:56 +09'00'
フィールド: Timestamp-b9712c6f-0214-410e-89e0-797
このバージョンを表示

証明書ビューア

このダイアログボックスを使用して、証明書およびその発行チェーン全体の詳細を表示できます。表示される詳細は、選択したエン트리に対応しています。

見つかったすべての証明パスを表示(s)

SSL.com Timestamping Unit 2025	概要	詳細	失効	信頼	ポリシー	法律上の注意事項
		SSL.com Timestamping Unit 2025 E1 SSL Corp 発行者: SSL.com Timestamping Issuing RSA CA R1 SSL Corp 有効期間の開始: 2025/02/19 01:32:02 +09'00' 有効期間の終了: 2034/11/13 03:50:05 +09'00' 鍵の使用法: 電子署名、タイムスタンプ				

書き出し(x)...

i 選択した証明書パスは有効です。
パスの検証確認は、保証された(タイムスタンプ)時刻に行われました:
2026/04/07 09:06:49 +09'00'

OK

署名パネル

録認証情報 (表紙)

行 World Intangible Bank)

SIR 知財登録認証番号 (知財(IP)コード)
S3920000001000005

法人 知財経営協会 (SIR)
www.ipbrand.org/ メール: staff@ipbrand.org

され、権利者に無断で使用すると処罰や損害賠償の対象になります。
録内容に虚偽や盗用等の不正が無いことを誓約したものです。
護される公開情報を除き、機密情報として適正に管理されています。

電子署名者: 公益社団法人知財経営協会(SIR)
日付: 2026.04.07 09:06:45 +09:00

⑥ この時間がタイムスタンプが押印された時刻
電子署名はこれより数秒前の時刻になります
(*タイムスタンプ押印時刻が最重要です)